

IAスーパーSELコントローラ

〔シングル〕

パソコン対応ソフト
Windows版

取扱説明書 第2版

ソフトウェア使用許諾契約書

本製品を開封する前に、ソフトウェア使用許諾契約書（以下「本契約書」といいます。）をお読みください。

本契約書は、本製品のパソコン対応ソフト（以下「本ソフトウェア」という。）に適用されます。本ソフトウェアを使用することにより、お客様は本契約書に同意されたものとします。本契約書に同意されない場合、本ソフトウェアを使用することはできません。

同意されない場合は、未使用の本製品を弊社に返却いただければ、代金をお返しいたします。

株式会社アイエイアイ（以下「甲」といいます）は、本契約書と共に提供する本ソフトウェアを非独占的に使用する譲渡不能な権利を下記条項に基づき許諾し、お客様（以下「乙」といいます。）も下記の条項に同意するものとします。

記

1. 契約期間

本契約は、乙が本ソフトウェアを開封した時から発効し、乙が甲に文書で申し入れるか、または第3項の規定により解除されるまで有効とします。

2. 使用権

乙は、甲の製品である外部機器通信ケーブル（以下「専用接続ケーブル」という。）を使用することを条件に、本ソフトウェアをコンピュータで使用することができます。乙ないし第三者は、専用接続ケーブルを使用することを条件に、複数のコンピュータで使用することができます。

3. 契約の解除

乙が、本契約に定める規定に違反したとき、または、本契約を継続しがたい重大な事由があるときは、甲は何らの通知を要せずに直ちに本契約を解除できます。

本契約が解除された場合、乙は契約が終了した日より10日以内に甲から受領した本ソフトウェア、専用接続ケーブル及び本ソフトウェアを複製したソフトウェアをすべて廃棄するものとします。

4. 保護範囲

甲は本ソフトウェアに関するすべての仕様について、事前の通知なしに変更することができるものとします。また本ソフトウェアに関するいかなる保証も行わないものとします。

甲は、乙ないし第三者が本ソフトウェアを使用することにより、乙ないし第三者が損害を受けた場合においても、乙ないし第三者は甲に対してその損害の賠償を求めることはできないものとします。

ご 注 意

- ① このソフトウェアの著作権は、株式会社 I A I (アイエイアイ) にあります。
- ② このソフトウェア及びマニュアルは、本製品のソフトウェア使用許諾契約書の同意のもとで使用することができます。
- ③ このソフトウェア及びマニュアルを運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承下さい。
- ④ このマニュアルの表紙に記載の版数 (V er. または E dition) と、ソフトウェアの版数 (V er.) は全く一致しておりませんので御了承ください。
- ⑤ このマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。
- ⑥ 本ソフトウェアは W indows3.1、W indows95、W indowsNT で動作します。(本ソフトウェアには W indows は付いていません)。従って、本ソフトウェアを御使用になる人は、W indows の基本的操作を出来る事が前提となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows3.1、W indows95、W indowsNT は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

Copyright 1995. July I A I Corporation. All rights reserved.

目 次

1. お使いになる前に	4
1-1. ご使用に際して提供されるもの	4
1-2. ご準備していただくもの	4
1-3. 本ソフトウェアのインストール	5
1-4. 本ソフトウェアの起動	5
2. メニューウィンドウ	6
2-1. メニューの説明	6
2-2. コマンドの説明	7
2-3. スピードバーの説明	9
3. パラメータウィンドウ	12
3-1. プログラムパラメータ	12
4. プログラム実行ウィンドウ	13
5. プログラム編集ウィンドウ	15
5-1. プログラム編集ウィンドウの項目説明	15
5-2. エラーウィンドウの説明	17
5-3. プログラム保存、及び編集終了について	18
6. プログラム選択ウィンドウ	19
6-1. プログラム複写	19
6-2. プログラム削除	20
7. ポイント編集ウィンドウ	21
7-1. ポイント編集ウィンドウの項目説明	21
7-2. ポイント保存、及び編集終了について	22

8. 軸状態・操作ウィンドウ	23
9. 入出力ポート・フラグウィンドウ	24
10. グローバル変数ウィンドウ	25
12. アップデートアプリケーションウィンドウ	27
13. ROM から FLASH へのコピー	31
変更履歴	32



1. お使いになる前に

1-1. ご使用に際して提供されるもの（製品構成）

本ソフトウェアの使用に際しまして、次のものが提供されていることを御確認下さい。

- | | |
|-------------------------------------|----|
| ①本マニュアル | 1冊 |
| ②ソフトウェアの入った3.5インチフロッピーディスク | 2枚 |
| ③ソフトウェア使用許諾契約（説明）書 | 1枚 |
| ④ユーザー登録カード（ソフトウェア使用許諾契約書兼用・官製はがき）*1 | 1枚 |
| ⑤標準RS232Cケーブル*2 | 1本 |

（*1 ユーザー登録カード（ソフトウェア使用許諾契約書）は、必ず弊社まで御返送下さるようお願い申し上げます。御返送されない場合は、ユーザーサポートができなくなります）

（*2 NEC製コンピューター御使用の際、一部機種においては、別途、アダプターを必要とする場合があります）

1-2. ご準備していただくもの（動作環境）

本ソフトウェアは、次のようなコンピュータ本体や周辺機器が必要です。

①コンピュータ本体、及び適合するキーボード

Windowsが動作するパーソナルコンピュータ*1、及び適合するキーボード。

（*1 パーソナルコンピュータ：以下、本書では「パソコン」と略記します）

②メモリ

Windowsを動作させるのに必要なメモリ容量に準じます。

③ディスプレイ

パソコン本体に適合するディスプレイ*1。

（*1 ディスプレイ：以下、本書では「CRT」とも表記します）

④グラフィックボード

VGA以上。

⑤マウス等ポインティングデバイス、及び適合するマウスドライバ

本ソフトウェアを快適に操作していただく為のマウス等ポインティングデバイス、及び適合するマウスドライバ。

⑥Windows

Windows3.1、Windows95、Windows NT

⑦フロッピーディスクドライブユニット

3.5インチ型1.25または1.44MBフロッピーディスクドライブユニット。

⑧ハードディスク

2MB以上の空き領域があるハードディスク。（本ソフトはハードディスクにインストールして使用）

⑨シリアルポート

RS232Cシリアルポート（25または9ピン）。

⑩プリンタ

パソコン本体に適合するプリンタ。

1-3. 本ソフトウェアのインストール

本ソフトは、パソコンのハードディスクにインストールして使用します。ここでは、本ソフトのインストール方法を説明致します。

- ①フロッピードライブに本ソフトのディスク1を挿入します。
- ②ディスク1にある Setup.EXE を実行してください。
- ③インストールプログラムが実行されますので、メッセージに従って操作してください。
- ④インストールプログラムが終了すると、Windows3.1 の場合は SELWIN という名前のグループアイコンが作成され、画面上に現われます。その中の SELWIN アイコンをダブルクリックすると、本ソフトが起動します。
また、Windows95、WindowsNT の場合は、スタートメニューに SELWIN という項目が作成され、その項目を選択することにより本ソフトが起動します。

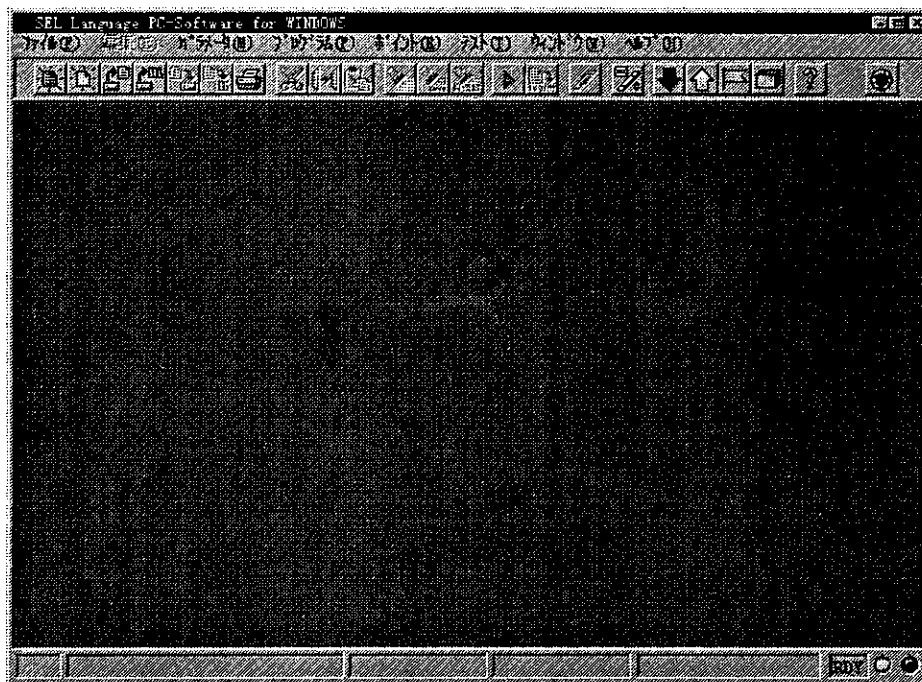
1-4. 本ソフトウェアの起動

- ①コントローラ及びパソコンの電源を OFF にして、付属の標準 RS 232 C ケーブルにて、コントローラとパソコンを接続します。
- ②コントローラ及びパソコンの電源を投入し、Windows を起動します。
- ③本ソフトを起動します。
(※本ソフトは、起動する際に、コントローラとパソコンが接続されているか否かによって、オンラインモードかオフラインモードかを判定していますので、本ソフト起動後にコントローラとパソコンを接続してもオンラインモードで使用することはできません)
- ④ご使用のパソコンに2台以上のコントローラが接続されている場合は、通信ポートの選択ウィンドウが開きますので、目的のコントローラが接続されているポートを選択します。
- ⑤オフラインの場合は、アクチュエータの軸数を尋ねるウィンドウが開きますので、適切な軸数を選択して下さい。
- ⑥本ソフトのメインメニュー（初期メニュー画面）が現れますので、以降は操作目的に応じて、画面表示に従いながら適切な入力を行って下さい。

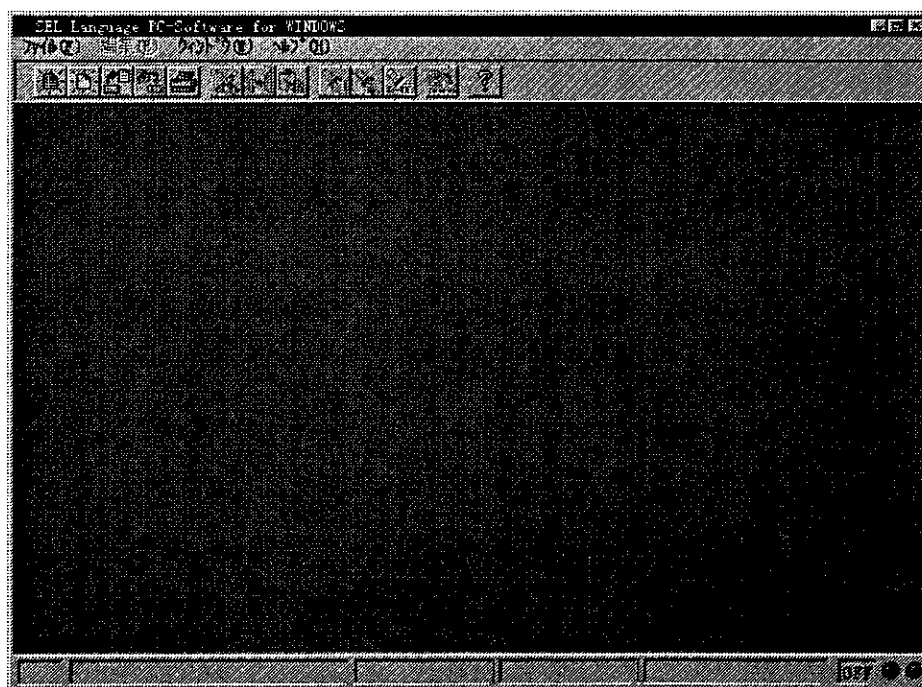
2. メニューウィンドウ

2-1. メニューの説明

本ソフトが起動しメインのウィンドウが開かれると、8項目のメニューとスピードバー上に23個のアイコンが現れます（初期画面：メインメニュー）。



オンライン起動画面



オフライン起動画面

オフライン状態では、幾つかのメニューやアイコンは、表示されません。

2-2. コマンドの説明

ファイル (F)

新規作成

└ プログラム (P)

└ ポイント (O)

開く (O)

上書き保存 (S) Ctrl+S

名前を付けて保存 (A) Ctrl+A

コントローラへ転送 (L)

印刷 (R)

印刷設定 (U)

マージン (M)

終了 (X)

オフラインでのファイル操作を行います。

プログラム・ポイントデータファイルを新規に作成します。

新規プログラムの編集ウィンドウを開きます。

新規ポイントデータの編集ウィンドウを開きます。

登録されているプログラム・ポイントデータファイルを選択して開きます。

編集中のプログラム・ポイントデータを、同一名称ファイルとして上書き保存します。

編集中のプログラム・ポイントデータを、別名称ファイルとして名前を付けて保存します。

登録されているプログラム・ポイントデータ・パラメータファイルを選択して、コントローラへ転送して読み込ませます。

選択されたプログラム・ポイントデータ・パラメータファイルを印刷します。

プリンタの設定を行いません。

印刷時の左マージンを設定します。

本ソフトを終了します。

編集 (E)

切取り (U) Ctrl+X

複写 (C) Ctrl+C

張付け (P) Ctrl+V

挿入 (I) Ctrl+I

検索 (S) Ctrl+F

次検索 (N) Ctrl+N

置換 (R) Ctrl+R

プログラムエラー確認 (H) Ctrl+E

プログラム・ポイントデータを編集する場合の補助作業を行いません。

マークされた行をクリップボードへ移動します。

マークされた行をクリップボードへ複写します。

マークされた行へクリップボードのデータを複写します。

カーソルで指定した行に1行挿入します。

検索する文字列の設定および検索を行いません。

上記で設定された文字列を、続けて検索します。

設定された文字列を検索し、設定された文字列に置換えます。

編集中のプログラムのエラー確認を行いません。

パラメータ (M)

プログラム (P)

ポイント (O)

サーボ (E)

軸 (A)

└ サーボ (A)

└ 原点復帰 (H)

└ モータ (M)

└ ゲイン (G)

保存 (S)

印刷 (R)

パラメータ関連を扱います。(オンライン)

プログラムパラメータの変更を行いません。

ポイントパラメータの変更を行います。

サーボパラメータの変更を行います。

軸別パラメータを扱います。

軸別サーボパラメータの変更を行いません。

軸別原点復帰パラメータの変更を行いません。

軸別モータパラメータの変更を行いません。

軸別ゲインパラメータの変更を行いません。

パラメータをファイルに名前を付けて保存します。

パラメータの印刷を行いません。

**プログラム (P)**

実行 (U)

コントローラ内のプログラム関連を扱います。(オンライン)
指定されたプログラムの実行・停止を行ないます。複数プログラムを並行して実行できます。

編集 (E)

プログラムの編集を行います。

書き込み (W)

編集中のプログラムをコントローラに書き込みます。

複写 (C)

プログラムの複写を行ないます。

削除 (D)

プログラムの削除を行ないます。

保存 (S)

プログラムをファイルに名前を付けて保存します。

一括保存 (V)

コントローラ内の全てのプログラムを1個のファイルとして名前を付けて保存します。

印刷 (R)

プログラムの印刷を行ないます。

ポイント (R)

編集 (E)

コントローラの位置データを扱います。(オンライン)

書き込み (W)

指定した範囲のポイントの編集を行ないます。

位置取得 (G) Ctrl+G

編集中のポイントをコントローラに書き込みます。

移動 (M) Ctrl+M

軸の現在位置をカーソル位置に読み込みます。

連続移動 (L) Ctrl+L

カーソル行の位置へ軸を移動させます。

(停止)

カーソル行から連続しているデータの位置へ順に移動していきます。連続移動中、このコマンドを実行すると停止します。

削除 (D)

指定した範囲のポイントの削除を行ないます。

保存 (S)

編集中のポイントファイルに名前を付けて保存します。

印刷 (R)

ポイントの印刷を行ないます。

テスト (T)

サーチ (S)

コントローラの操作関連を扱います。(オンライン)

システム入力 (Y)

軸の状態確認、およびジョグ動作を行ないます。

入力 (I)

システム入力・プログラム No. 入力ポートの状態表示を行ないます。

出力 (O)

入力ポートの状態の表示を行ないます。

プラグ (F)

出力ポートの表示、変更を行ないます。

変数 (A)

プラグの表示、変更を行ないます。

バージョン (V)

グローバル変数 (200~399) の表示を行ないます。

消去 (C)

バージョンの表示を行います。

リセット (R)

コントローラ内のパラメータ・プログラム・ポイントの消去を行ないます。

コントローラのリセットを行ない、電源 ON 時と同じ状態となります。

ウィンドウ (W)

カスケード (C)

画面表示されているウィンドウの管理を扱います。

タイル横 (H)

表示されている複数のウィンドウを斜めに少しずつずらして並べます。

タイル縦 (V)

表示されている複数のウィンドウを水平方向に分割して並べます。

アイコンの整列 (I)

表示されている複数のウィンドウを垂直方向に分割して並べます。

アイコンを最下段に並べます。

ヘルプ (H)

目次 (C)

SEL Win の使い方・SEL 言語・資源についての説明をします。

検索 (S) Ctrl+H

トピックの検索をし、そのキーワードの説明をします。

情報 (A)

ソフトウェアのバージョン等を表示します。

2-3. スピードバーの説明



プログラムファイルの新規作成を行います。

ファイル (F) → 新規作成 (N) → プログラム (P) と同様の動作をします。



ポイントファイルの新規作成を行います。

ファイル (F) → 新規作成 (N) → ポイント (O) と同様の動作をします。



ファイルの編集を行います。

ファイル (F) → 開く (O) と同様の動作をします。



コントローラへ読み込みます。

ファイル (F) → コントローラポート (L) と同様の動作をします。



編集内容をファイルへ保存します。

ファイル (F) → 上書き保存 (S)、または名前を付けて保存 (A) と同様の動作をします。



編集内容をコントローラへ書込みます。

プログラム (P) → 書込み (W)、またはポイント (R) → 書込み (W) と同様の動作をします。



ファイルの印刷を行ないます。

ファイル (F) → 印刷 (R) と同様の動作をします。



選択範囲をクリップボードへ切取ります。

編集 (E) → 切取り (U) と同様の動作をします。



選択範囲をクリップボードへ複写します。

編集 (E) → 複写 (C) と同様の動作をします。



クリップボードの内容を張付ます。

編集 (E) → 張付け (P) と同様の動作をします。



文字列の検索を行ないます。

編集 (E) → 検索 (S) と同様の動作をします。



指定された文字列の次の検索を行ないます。

編集 (E) → 次検索 (N) と同様の動作をします。



指定された文字列を指定された文字列への置換を行ないます。

編集 (E) → 置換 (R) と同様の動作をします。



プログラム実行ウィンドウを開きます。

プログラム (P) → 実行 (U) と同様の動作をします。



プログラムのエラーチェックを行ないます。

編集 (E) → プログラムエラー確認 (H) と同様の動作をします。



軸の現在位置をポイントデータとして取得します。

ポイント (R) → 位置取得 (G) と同様の動作をします。



軸の状態表示と操作を行ないます。

テスト (T) → サーチ (S) と同様の動作をします。



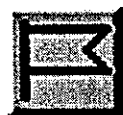
入力ポートの状態を表示します。

テスト (T) → 入力 (I) と同様の動作をします。



出力ポートの状態を表示します。

テスト (T) → 出力 (O) と同様の動作をします。



フラグの状態を表示します。

テスト (T) → フラグ (F) と同様の動作をします。



グローバル変数の内容を表示します。

テスト (T) → 変数 (A) と同様の動作をします。



ヘルプ画面を表示します。

ヘルプ (H) 中の検索と同様の動作をします。



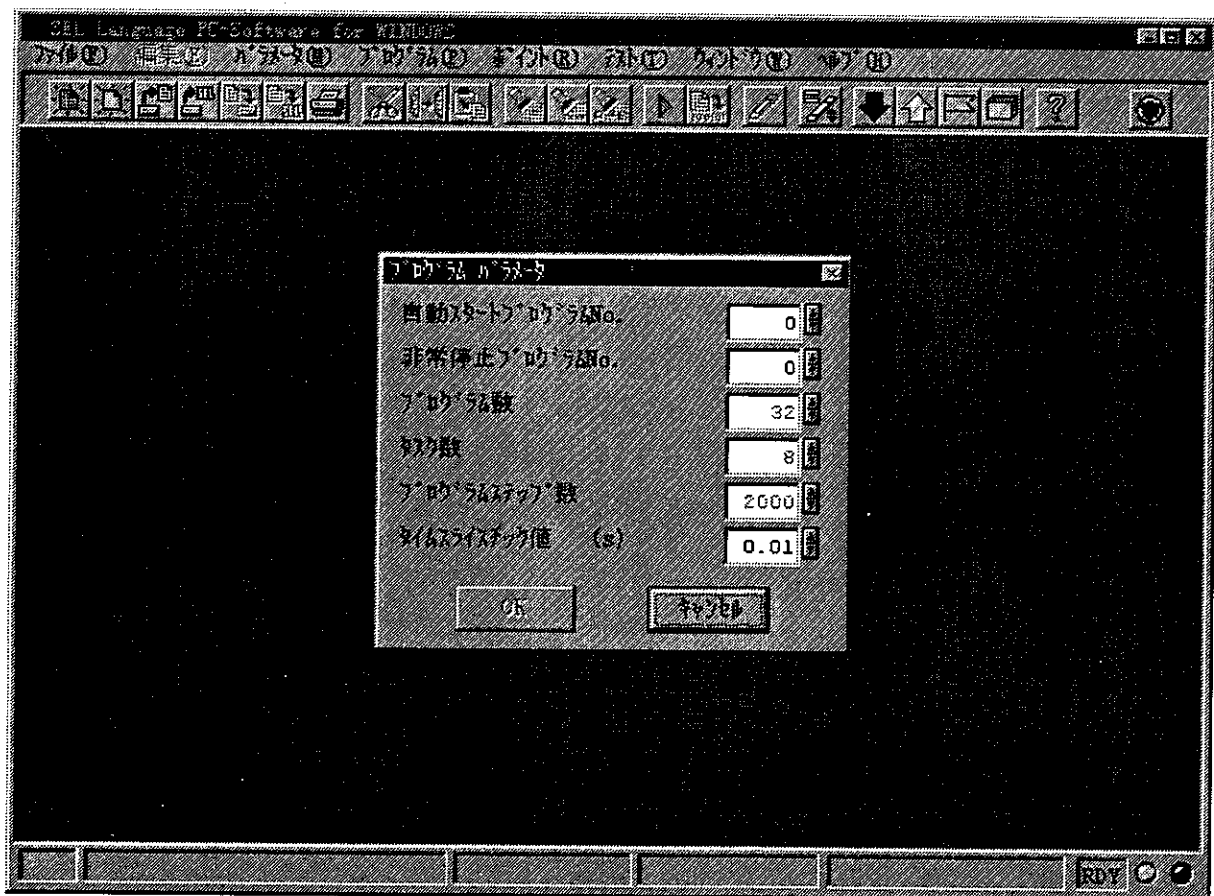
コントローラの再起動 (リセット) を行ないます。

テスト (T) → リセット (R) と同様の動作をします。

3. パラメータウィンドウ

3-1 プログラムパラメータ

- ①メニューからパラメータ (M) →プログラム (P) と選択します。
- ②プログラムパラメータのウィンドウが開かれます。
適切なパラメータを選び、その値を修正します。
なお、半透明になっているプログラム数、タスク数、プログラムステップ数はコントローラ固有の値なので、変更する事は出来ません。
- ③修正後OKをクリックするとプログラムパラメータの書き込みウィンドウが開きますので、はい (Y) をクリックし変更した内容をコントローラに書き込みます。
キャンセルをクリックすると内容を変更せずに終了します。
パラメータ変更後はその設定を有効にする為に、一度リセットする必要があります。



*上記では、プログラムパラメータについて述べましたが、その他のパラメータについても、操作方法は共通となります。

4. プログラム実行ウィンドウ

①メニューからプログラム (P) →実行 (U) と実行します。

②タスク状態ウィンドウが表示され、このウィンドウには次の項目があります。

Program

プログラムNoとステップ数が表示されます。ここで実行するプログラムを選択します。

No.

タスクNoを表示しています。

Sts

プログラムの状態を表示します。

L

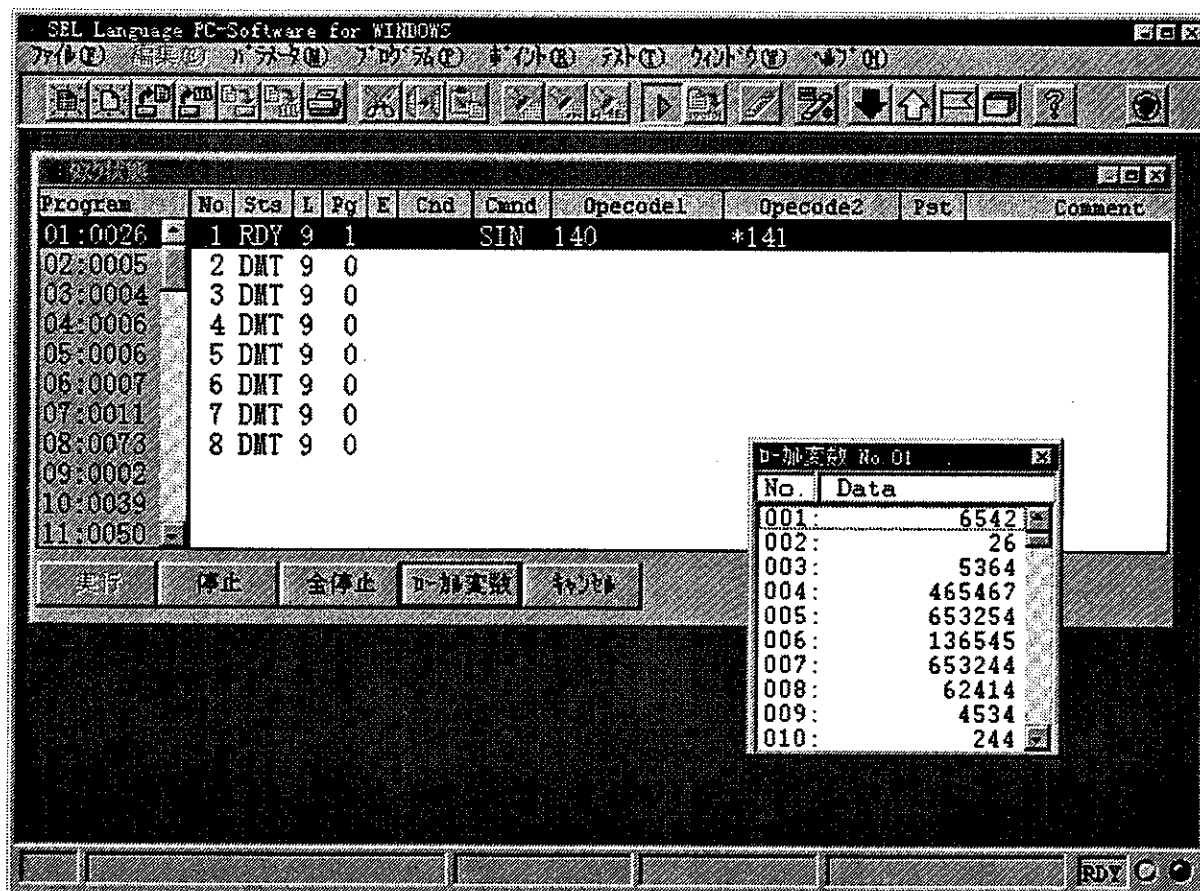
タスクレベルを表示します

Pg

実行中のプログラムNoを表示しています。

E~Comment

現在実行しているステップを表示します。各項目はプログラム編集のものと同じです。





③このウィンドウには次のボタンがあります。

実行

プログラムリストで選択されているプログラムを実行します。

停止

タスクリストで選択されているプログラムを停止します。

全停止

実行中の全てのプログラムを停止します。

ローカル変数

タスクリストで選択されている実行中プログラムのローカル変数ウィンドウを開きます。

キャンセル

ウィンドウを閉じます。ウィンドウを閉じても実行中のプログラムは停止しません。

5. プログラム編集ウィンドウ

5-1. プログラム編集ウィンドウの項目説明

- ①メニューからプログラム (P) →編集 (E) と選択します。
- ②プログラム選択ウィンドウが表示されますので、編集するプログラムNoを選択しOKをクリックします。
- ③コントローラプログラムウィンドウが表示され、このウィンドウには次の項目があります。

Step

プログラムの行番号が表示されます。入力はありません。

E

拡張条件を指定します。AかOで指定します。

A = And

O = Or

を表しています。

N

入力条件の反転を指定します。Nを指定すると反転になります。

N = Not

Cnd

入力条件を指定します。入出力ポート・フラグを指定します。

範囲は1～999です。

Cmnd

コマンドを指定します。アルファベットキーをキーボードから直接入力するか、ここでダブルクリックして、プログラム命令リストの内容を呼び出して選択します。必要なコマンドをキー入力すると、該当するコマンドにカーソルが合います。リターンキーを押すか、ダブルクリックすると、コマンドが入力されます。

Operand 1, 2

ここに入力できるデータには次のものがあります。

数値

数値データ、入出力ポート・フラグ、変数Na、カラムNa、タグNa、サブルーチンNa、軸Na、ポジションNa、プログラムNa、タスクレベル、資源Na、チャンネルNa等で、直接数字を入力します。

変数

数値データを指定する項目で、*変数Naと入力する事によって間接指定が出来ます。例えば変数1に10が入っていた場合、*1と指定すると10を指定した場合と同じ動作をします。

**軸パターン**

2進数表記で軸を指定します。

0 = 非選択

1 = 選択

となります。

文字列

"で囲まれたデータは、文字列として認識します。

'SEL'の様に入力します。一度に指定できる文字数は半角4文字までです。

P s t

各命令ごとの結果条件に合った場合にオンにされる出力ポート・フラグを指定します。

入力は数値で、範囲は300～999です。

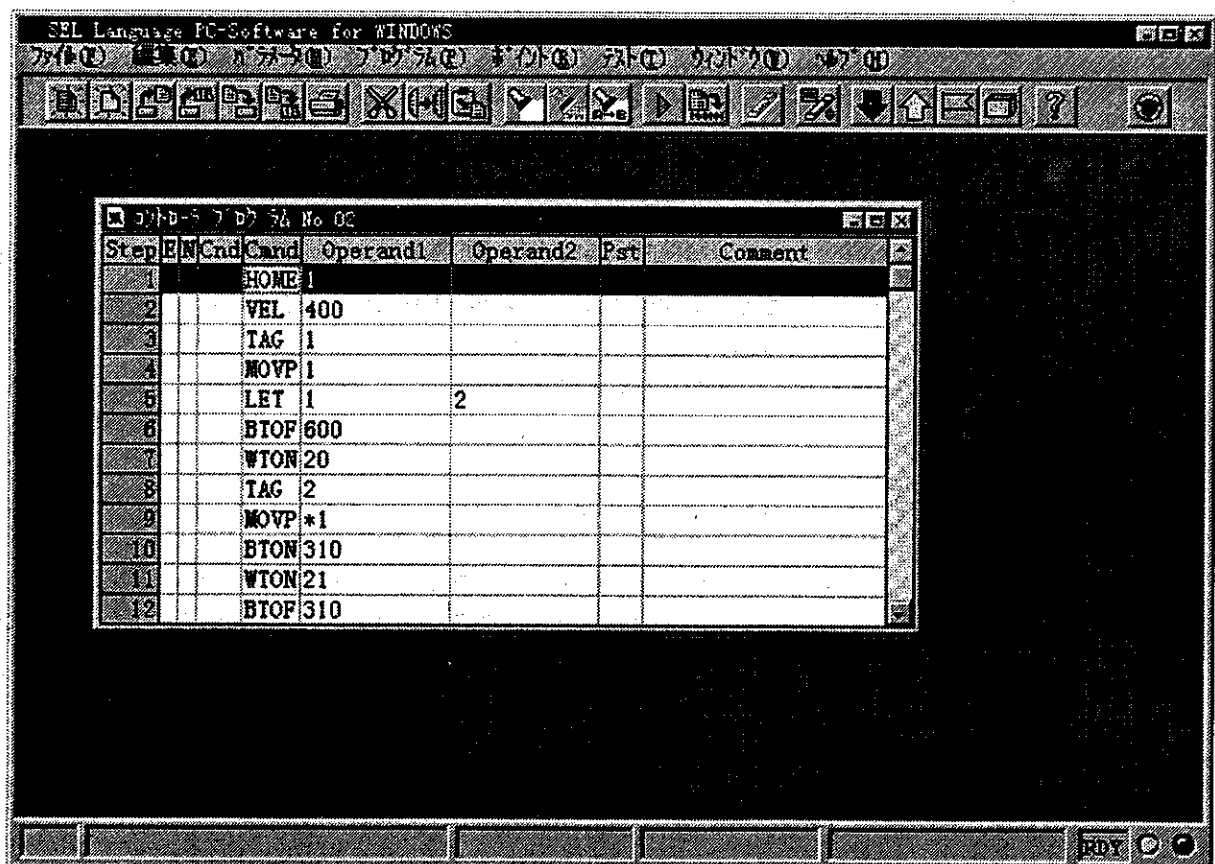
C o m m e n t

プログラムの注釈を書いておく事が出来ます。文字数は18文字(半角)です。

ここを有効に使用し、見易いプログラムを作るのに役立てて下さい。

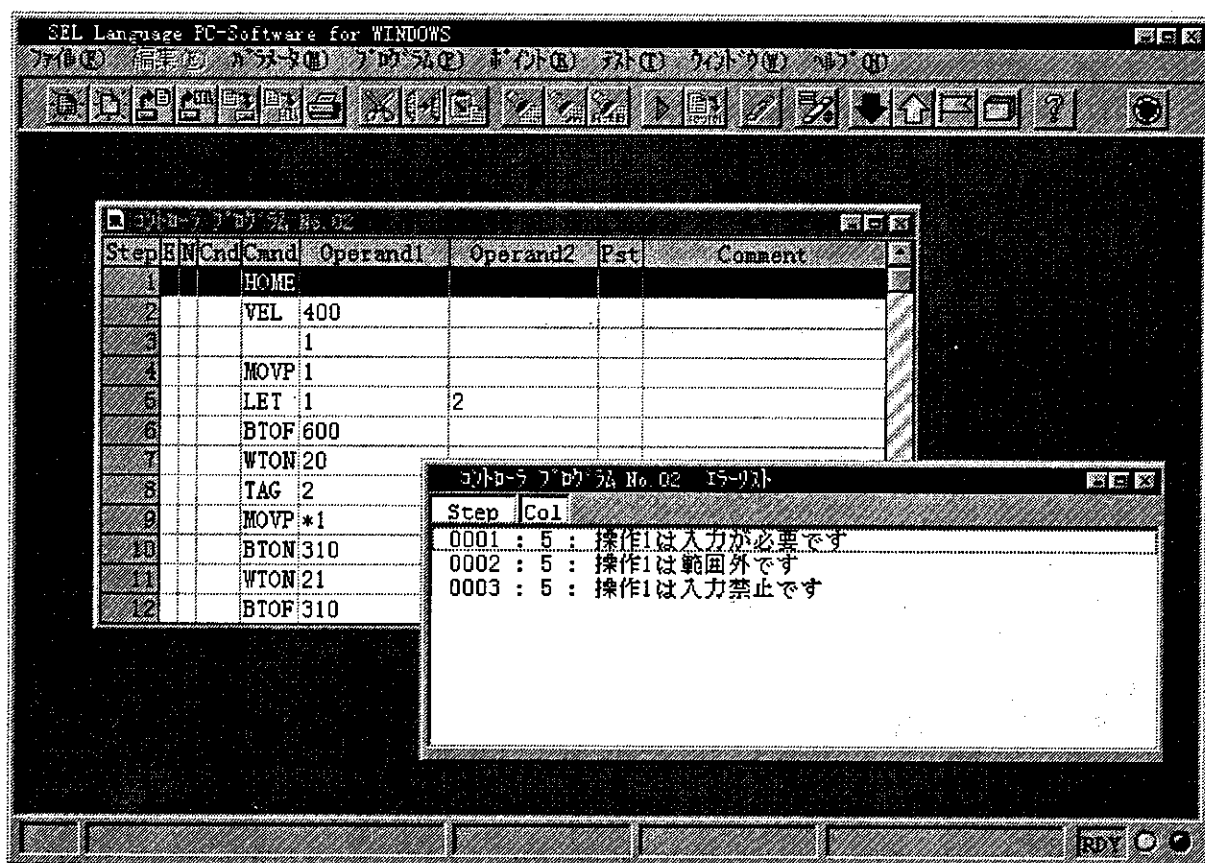
また、コメントだけの行や空白行も許されるので必要に応じて使用して下さい。

- ④ C o m m e n t にカーソルを合わせ、リターンキーを押すと次の行に移動します。



5-2. エラーウィンドウの説明

- ①メニューから編集 (E) →プログラムエラー確認 (H) と選択します。
- ②プログラムエラー確認を実行すると、エラーがあった場合は、エラーリストが表示されます。
エラーリストには、行番号と列番号およびエラーの種類が書かれており、そこをダブルクリックするとそのエラーがある位置へカーソルが移動します。



5-3. プログラム保存、及び編集終了について

① ファイル (F) → 上書き保存 (S)

プログラムをファイルに保存します。

注) ファイル名が指定されていない場合は②と同様となります。

② ファイル (F) → 名前を付けて保存 (A)

プログラムに名前を付けてファイルに保存します。

③ プログラム (P) → 書き込み (W)

プログラムをコントローラに保存します。

コントローラプログラム編集時のみ使用可能です。

注) プログラムにエラーがあった場合は、エラーウィンドウを表示します。

④ プログラム編集ウィンドウを閉じる

編集終了時に書込確認のメッセージが表示されます。

はい (Y)

プログラムを更新して終了します。

プログラムを読み込んだ所へ書き戻します。

いいえ (N)

プログラムを破棄して終了します。

キャンセル

終了を中止して編集を続けます。

注) 保存時には自動的にプログラムエラー確認が行なわれます。エラーがあった場合は、保存を中止します。

6. プログラム選択ウィンドウ

6-1 プログラム複写

- ①メニューからプログラム (P) → 複写 (C) と選択します。
- ②プログラム複写のウィンドウが表示されます。
複写元のプログラムNo.をダブルクリックするとインフォメーションに複写元プログラムNoが表示されます。
- ③複写先のプログラムNo.をクリックするとインフォメーションに複写先プログラムNoが表示されますので下記のボタンを選択しクリックしてください。

追加

複写先のプログラムの最後に複写元のプログラムを複写します。

上書き

複写先のプログラムを消去しその先頭へ、複写元のプログラムを複写します。

キャンセル

中止終了します。



6-2. プログラム削除

- ①メニューからプログラム (P) →削除 (D) と選択します。
- ②プログラム削除のウィンドウが表示されます。
削除するプログラムNoをクリックするとインフォメーションに削除プログラムNoが表示されます。
- ③削除ボタンをクリックするとプログラムを削除します。

7. ポイント編集ウィンドウ

7-1. ポイント編集ウィンドウの項目説明

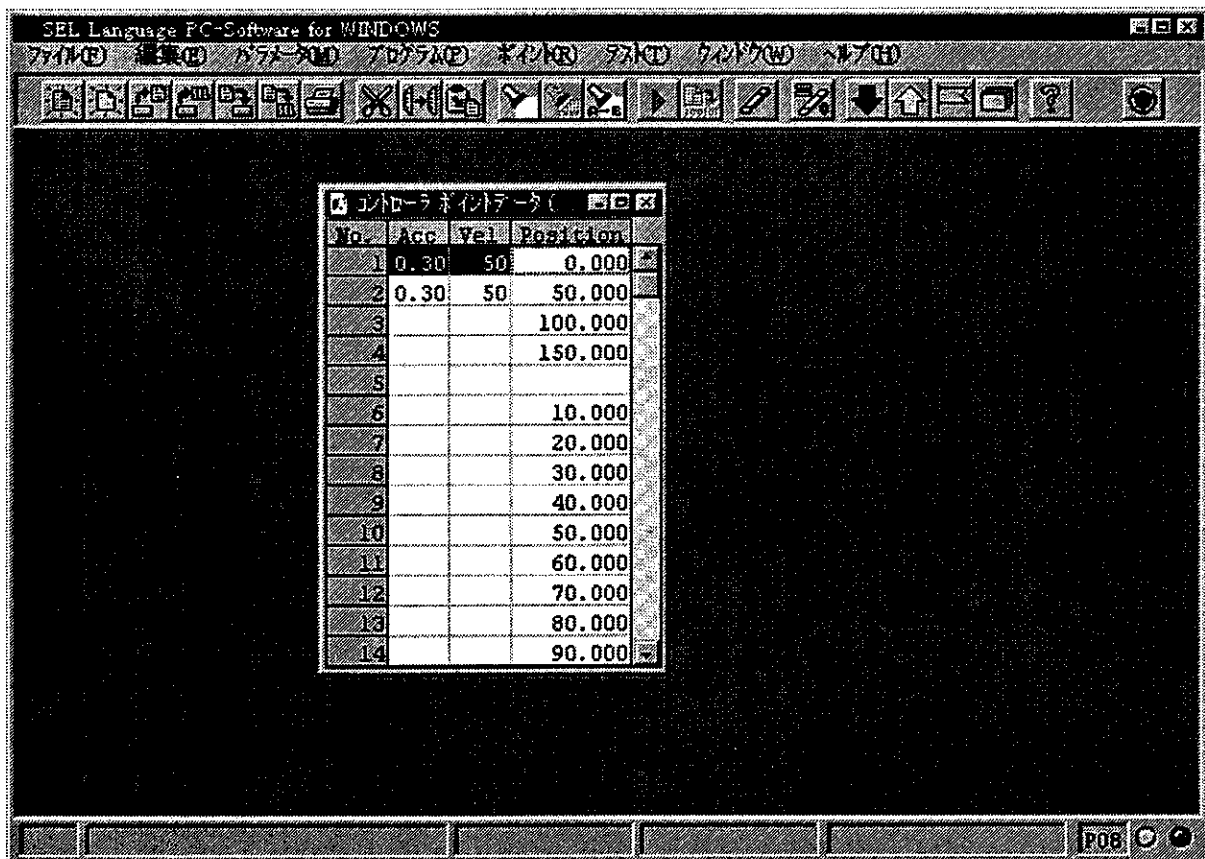
- ①メニューからポイント (P) →編集 (E) と選択します。
- ②ポイントデータ選択ウィンドウが表示されますので、編集範囲を選択し、O Kをクリックします。
- ③コントローラポイントデータウィンドウが表示され、このウィンドウには次の項目があります。

N o. ポイントNo. です。入力の必要はありません。

A c c 加速度を指定します。
設定範囲は 0. 0 1 ～サーボパラメータの最大加速度までです。

V e l 速度を指定します。
設定範囲は 1 ～サーボパラメータの最大加速度までです。

A x i s 1 ～ 8 各軸の位置を指定します。
設定範囲は - 9 9 9 9. 9 9 9 ～ 9 9 9 9. 9 9 9 です。
- ④最終 Axis にカーソルを合わせ、リターンキーを押すと次の行に移動します。





7-2. ポイント編集機能説明

ポイント編集機能には、直接数値入力する以外に以下の操作ができます。

① **ポイント (P) → 位置取得 (G)**

軸の現在位置をカーソル位置に読み込みます。

② **ポイント (P) → 移動 (M)**

カーソル行の位置へ軸を移動させます。

③ **ポイント (P) → 連続移動 (L)**
(停止)

カーソル行から連続しているデータの位置へ順に移動していきます。
連続移動中、このコマンドを実行すると停止します。

注) 軸状態・操作ウィンドウで選択した軸のみが、上記操作の対象となります。

7-3. ポイント保存、及び編集終了について

① **ファイル (F) → 上書き保存 (S)**

ポイントをファイルに保存します。

注) ファイル名が指定されていない場合は②と同様となります。

② **ファイル (F) → 名前を付けて保存 (A)**

ポイントに名前を付けてファイルに保存します。

③ **ポイント (R) → 書き込み (W)**

ポイントをコントローラに保存します。

コントローラポイント編集時のみ使用可能です。

④ **ポイント編集ウィンドを閉じる**

編集終了時に書込確認のメッセージが表示されます。

はい (Y)

ポイントを更新して終了します。

ポイントを読み込んだ所へ書き戻します。

いいえ (N)

ポイントを破棄して終了します。

キャンセル

終了を中止して編集を続けます。

8. 軸状態・操作ウィンドウ

①メニューからテスト (T) →サーボ (S) と選択します。

②軸状態・操作ウィンドウが表示されます。

軸の選択スイッチ、軸 No.、現在位置、ステータスが表示されます。

③軸動作スイッチをクリックする事により、軸状態の選択スイッチで指定した軸が動作します。

原点復帰

指定された軸を原点復帰します。

前進／後進

軸のジョグ移動を開始させます。

軸はスイッチを押している間、動作を行ないます。

サーボON/OFF

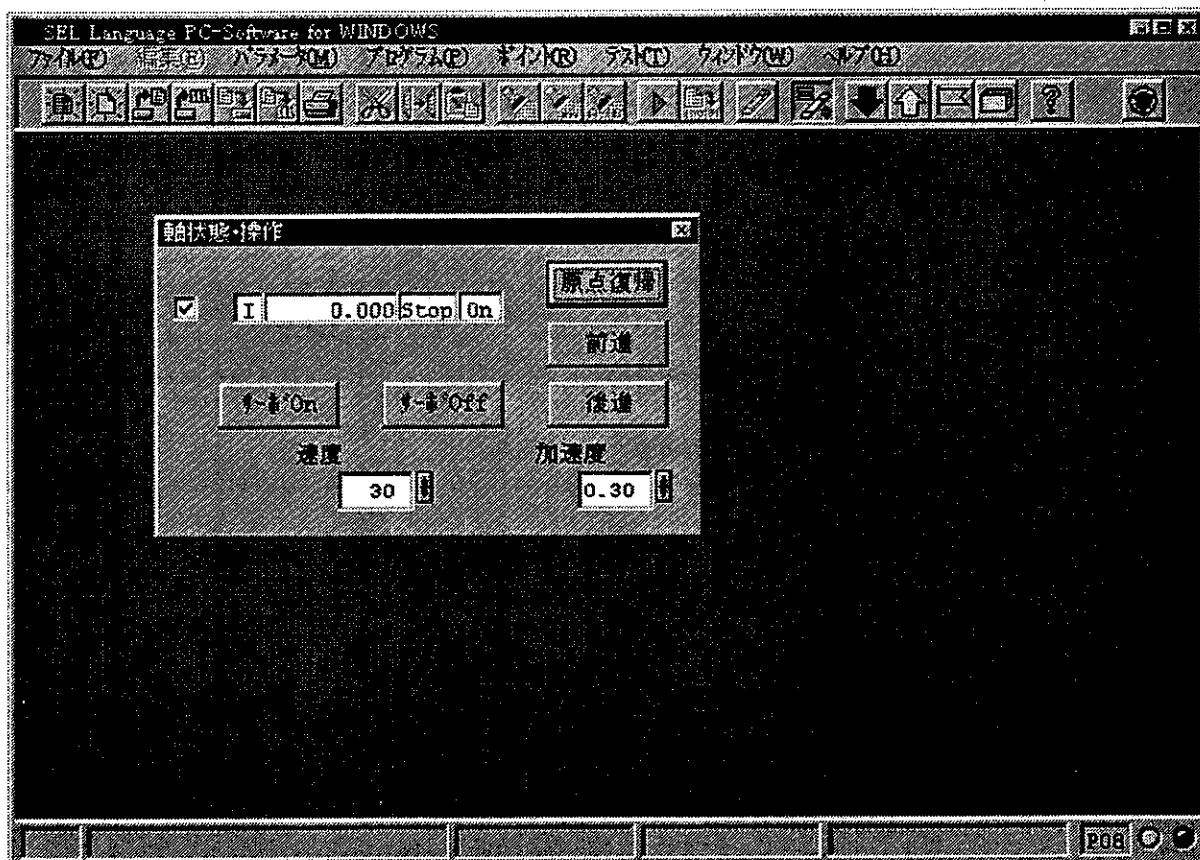
サーボのON/OFFをします。

加速度

移動時の加速度を設定します。

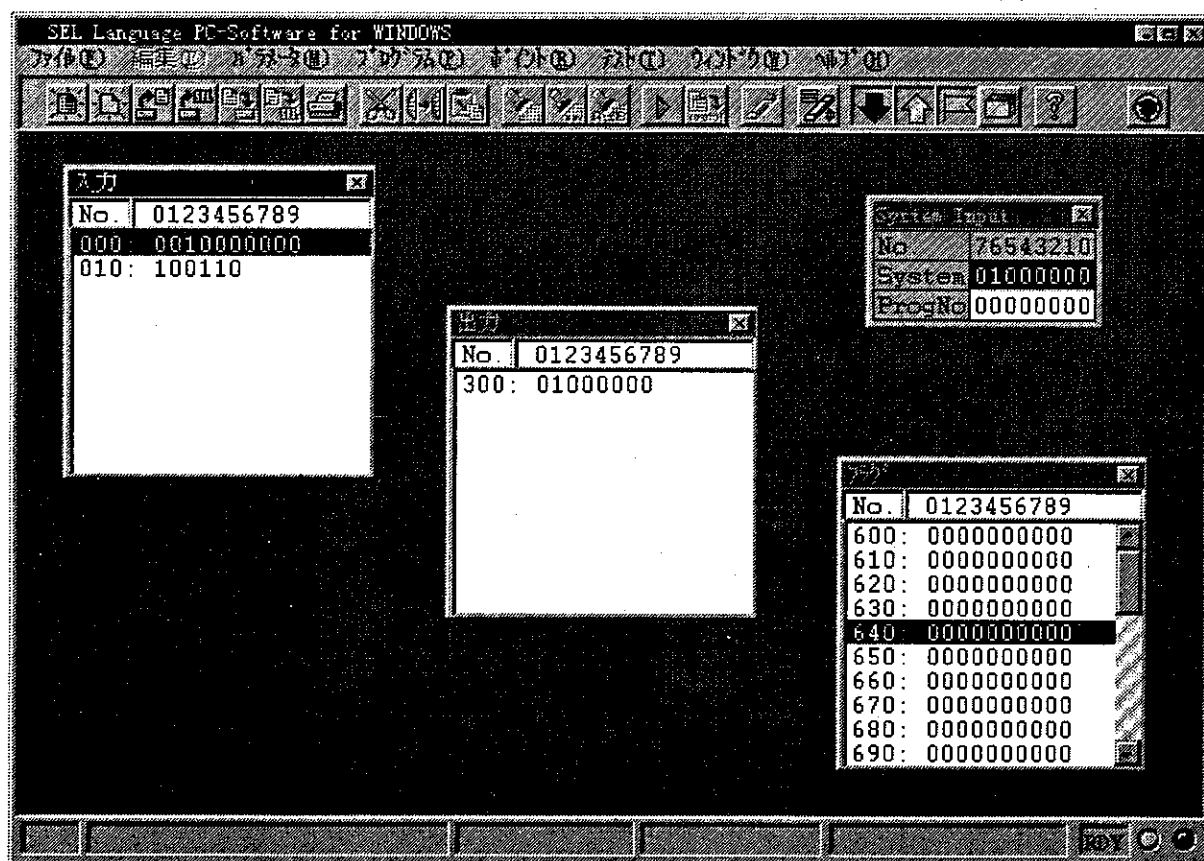
速度

移動時の速度を設定します。



9. 入出力ポート・フラグウィンドウ

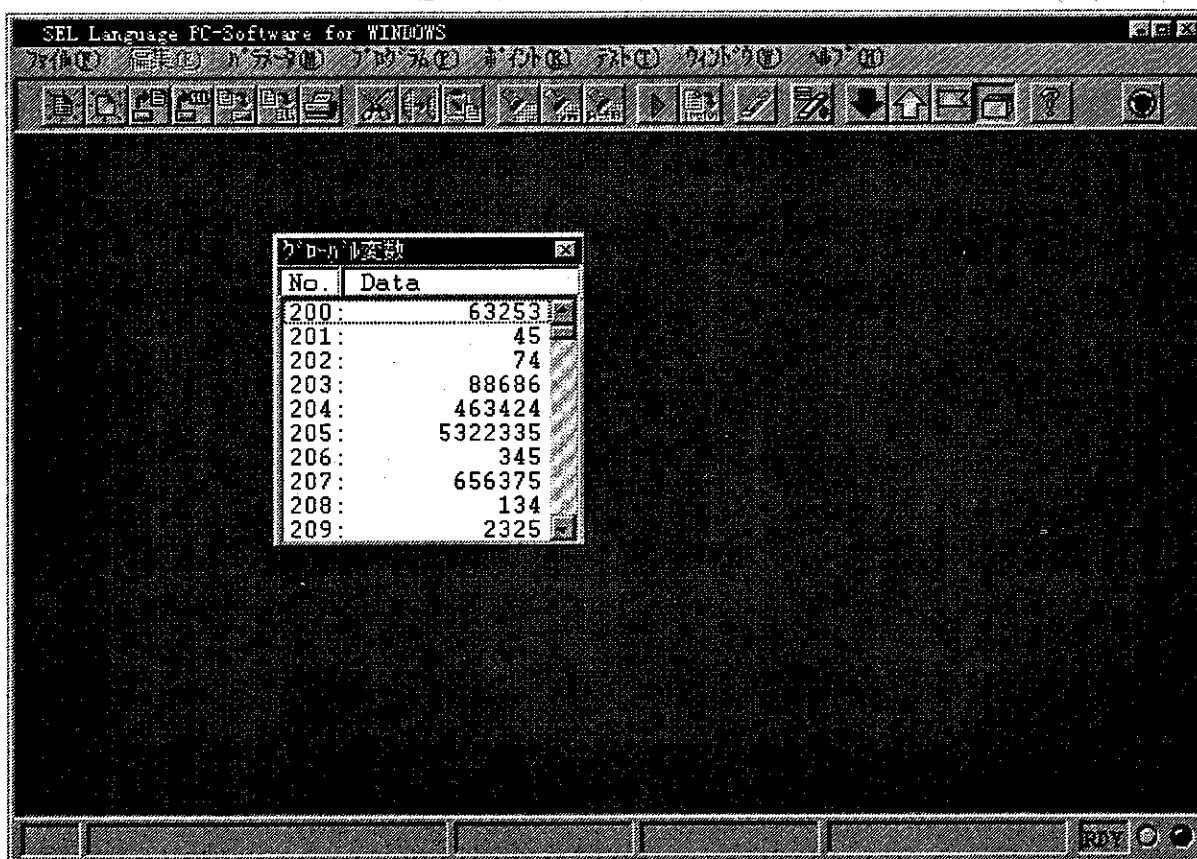
- ①メニューからテスト (T) → システム入力 (Y) または、入力 (I) または、出力 (O) または、フラグ (F) と選択します。
- ②システム入力、入力、出力、フラグのウィンドウが表示されます。
それぞれ現在のシステム入力ポート、入力ポート、出力ポート、フラグの値を示しています。
出力とフラグにおいては、0/1 キーでカーソル位置出力、フラグの状態を反転することが出来ます。



注) システム入力ウィンドウは DS タイプのみ表示されます。

10. グローバル変数ウィンドウ

- ①メニューからテスト (T) →変数 (A) と選択します。
- ②グローバル変数ウィンドウが表示されます。
現在のグローバル変数 (200～399) の値を表示します。



11. メモリ消去ウィンドウ

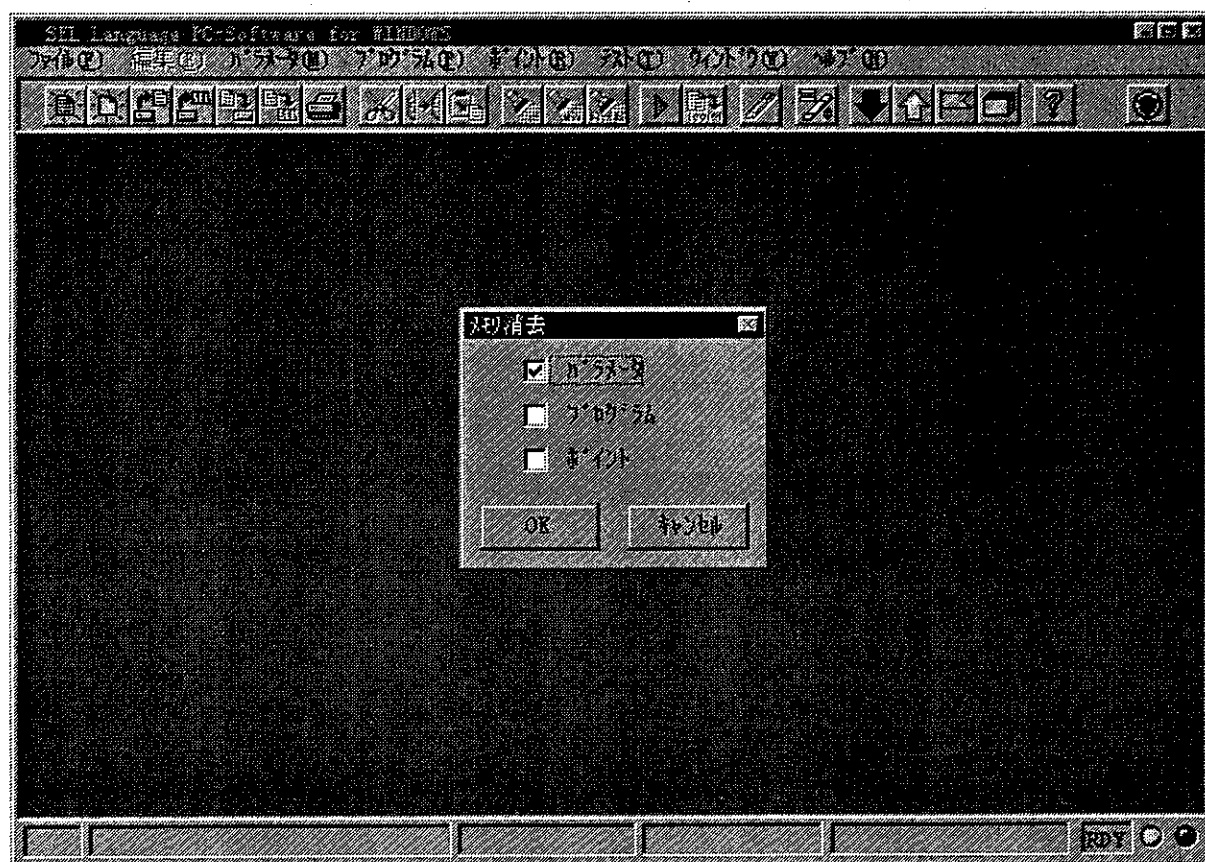
①メニューからテスト (T) → 消去 (C) と選択して下さい。

②メモリ消去ウィンドウが表示されます。

パラメータ、プログラム、ポイントの内初期化するものをマークしてOKをクリックして下さい。

パラメータは、初期値がセットされ、プログラム、ポイントは全て消去されます。

初期化した後は、コントローラをリセットし、プログラムも立ち上げ直して下さい。



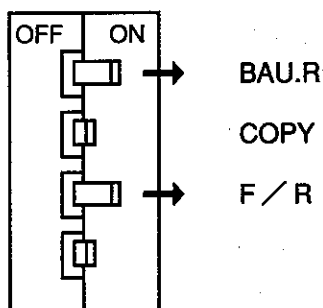
12. アップデートアプリケーションウィンドウ

現行のフラッシュメモリの内容を、アップデートします。

このためにはまず、お客様のハードディスク内に最新バージョンのファイルがある状態を前提とします。


- ①コントローラ正面パネル内のファンクションスイッチのBAU.RスイッチをONにし、ボーレートを高速に設定します。また、F/RスイッチをONにし、ROM側に切替えます。

ファンクションスイッチ



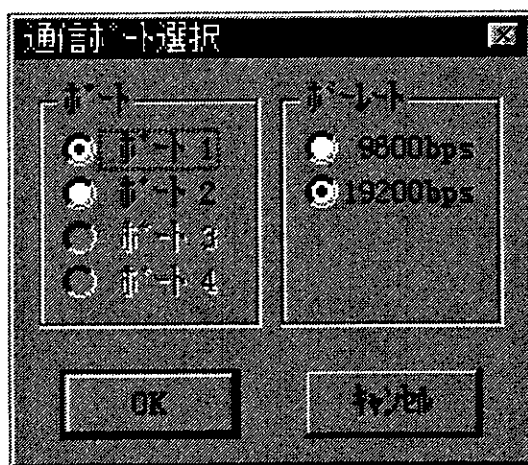
(通常 OFF 状態)

※この作業は、先の細いドライバ等により行なって下さい。

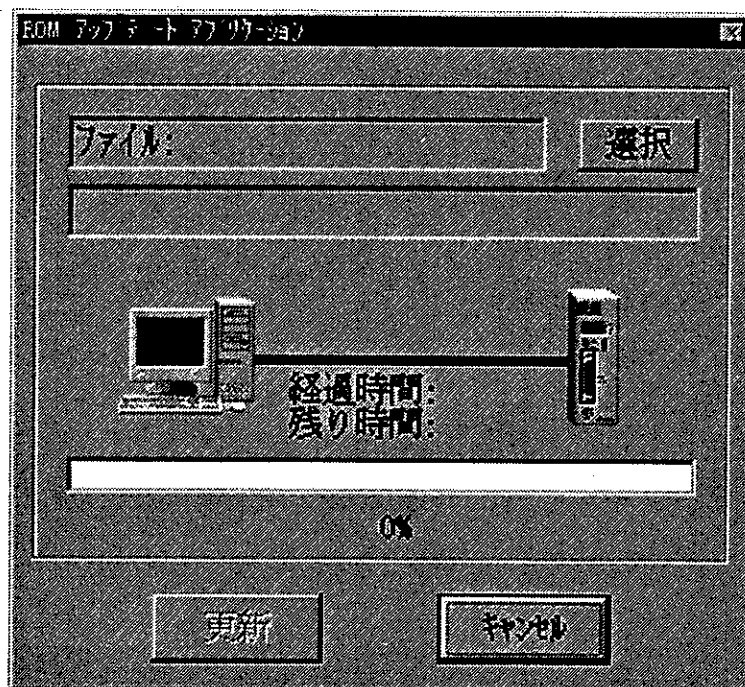
- ②コントローラの電源を投入します。コントローラのコード表示は  を表示します。

- ③パソコン対応ソフトと同じディレクトリーにある UPDATE.EXE を実行して下さい。

通信ポート選択ウィンドウが開かれるのでコントローラの接続されたポートを選択します。また、ボーレートを 19200bps に設定し OK をクリックします。




④アップデートアプリケーションウィンドウが開きますので、選択をクリックします。

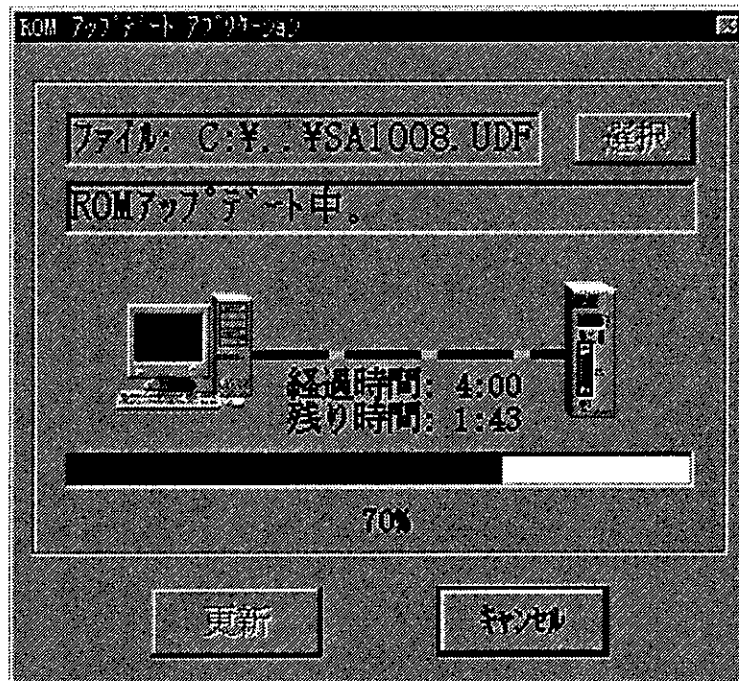



⑤あらかじめハードディスク内にある最新バージョンファイルを選択します。(拡張子は UDF です)

⑥選択されたファイル名を表示しますので、間違いなければ更新をクリックします。

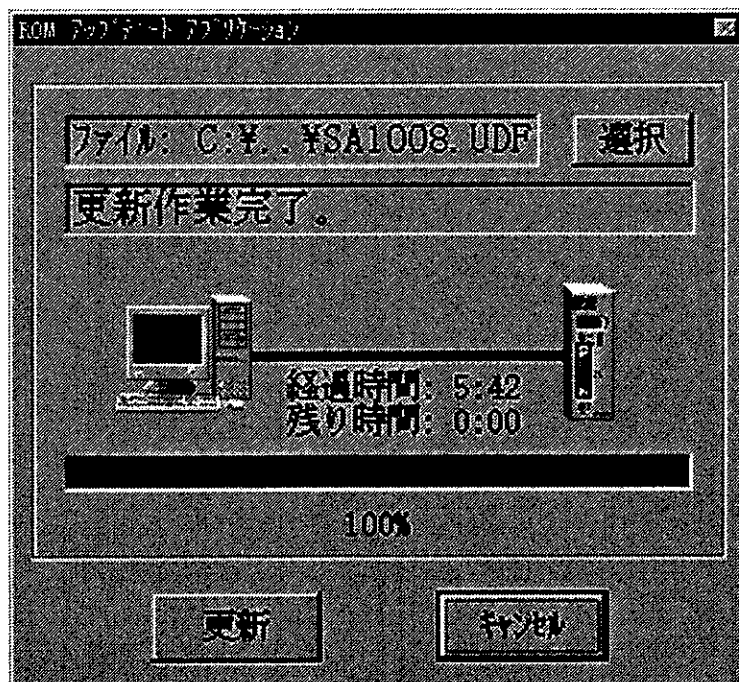
⑦作業フォルダ選択ウィンドウが開かれますが、内容を変更せずそのまま OK をクリックします。

- ⑧ 現行のフラッシュメモリの内容が消去され、最新バージョンにアップデートされます。コントローラのコード表示は  を表示します。



- ⑨ 更新が終了したらOKをクリックします。コントローラのコード表示は  を表示します。

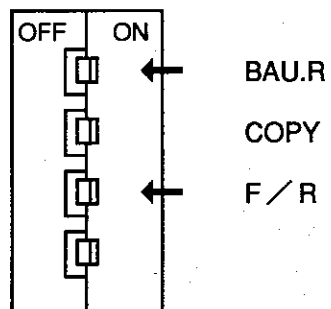
- ⑩ 以上で、パソコンからの更新作業は終了しますので、キャンセルをクリックし、アップデートアプリケーションを終了します。



⑪コントローラの電源を切ります。

⑫コントローラ正面パネル内のファンクションスイッチのBAU.RスイッチおよびF/RスイッチをOFFに戻します。

ファンクションスイッチ



(通常 OFF 状態)

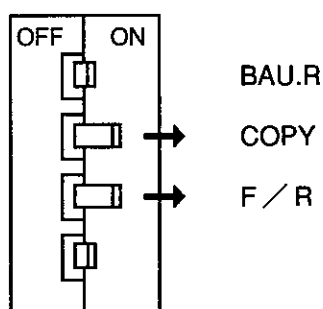
⑬次回の起動より、更新されたバージョンでコントローラが動作します。

13. ROM から FLASH へのコピー

ROM を新しいものに交換した場合または、アップデートした内容を元に戻したい場合に使用します。

- ①コントローラ正面パネル内のファンクションスイッチの COPY スイッチを ON にします。また、F/R スイッチを ON にし、ROM 側に切換えます。


ファンクションスイッチ




(通常 OFF 状態)

※この作業は、先の細いドライバ等により行なって下さい。

- ②コントローラの電源を投入します。

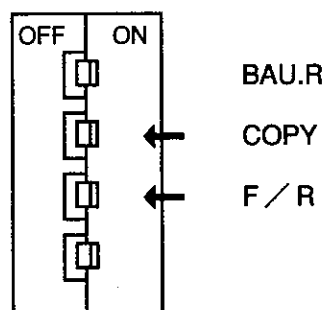
コントローラのコード表示が  を表示し、ROM から FLASH へコピーを開始します。コピー

が完了するとコントローラのコード表示が  を表示します。

- ③コントローラの電源を切ります。

- ④コントローラ正面パネル内のファンクションスイッチの COPY スイッチおよび F/R スイッチを OFF に戻します。

ファンクションスイッチ



(通常 OFF 状態)

- ⑤次回の起動より、ROM と同じバージョンでコントローラが動作します。



変更履歴

改定日	改訂内容
2011.08	第 2 版 ソフトウェア使用許諾契約書を変更



株式会社 **アイエイアイ**

本社・工場	〒424-0103	静岡県静岡市清水区尾羽577-1	TEL 054-364-5105 FAX 054-364-2589
東京営業所	〒105-0014	東京都港区芝3-24-7 芝エクスージビルディング4F	TEL 03-5419-1601 FAX 03-3455-5707
大阪営業所	〒530-0002	大阪市北区曽根崎新地2-5-3 堂島TSSビル4F	TEL 06-6457-1171 FAX 06-6457-1185
名古屋営業所	〒460-0008	名古屋市中区栄5-28-12 名古屋若宮ビル8F	TEL 052-269-2931 FAX 052-269-2933
盛岡営業所	〒020-0062	岩手県盛岡市長田町6-7 クリエ21ビル7F	TEL 019-623-9700 FAX 019-623-9701
仙台営業所	〒980-0802	宮城県仙台市青葉区二日町14-15 アミ・グランデ2日町4F	TEL 022-723-2031 FAX 022-723-2032
新潟営業所	〒940-0082	新潟県長岡市千歳3-5-17 センザビル2F	TEL 0258-31-8320 FAX 0258-31-8321
宇都宮営業所	〒321-0953	栃木県宇都宮市東宿郷5-1-16 ルーセントビル3F	TEL 028-614-3651 FAX 028-614-3653
熊谷営業所	〒360-0847	埼玉県熊谷市龍原南1-312 あかりビル5F	TEL 048-530-6555 FAX 048-530-6556
茨城営業所	〒300-1207	茨城県牛久市ひたち野東5-3-2 ひたち野うしく池田ビル2F	TEL 029-830-8312 FAX 029-830-8313
多摩営業所	〒190-0023	東京都立川市柴崎町3-14-2 BOSENビル2F	TEL 042-522-9881 FAX 042-522-9882
厚木営業所	〒243-0014	神奈川県厚木市旭町1-10-6 シャンロック石井ビル3F	TEL 046-226-7131 FAX 046-226-7133
長野営業所	〒390-0877	長野県松本市沢村2-15-23 昭和開発ビル2F	TEL 0263-37-5160 FAX 0263-37-5161
甲府営業所	〒400-0031	山梨県甲府市丸の内2-12-1 ミサトビル3F	TEL 055-230-2626 FAX 055-230-2636
静岡営業所	〒424-0103	静岡県静岡市清水区尾羽577-1	TEL 054-364-6293 FAX 054-364-2589
浜松営業所	〒430-0936	静岡県浜松市中区大工町125 大発地所ビルディング7F	TEL 053-459-1780 FAX 053-458-1318
豊田営業所	〒446-0056	愛知県豊城市三河安城町1-9-2 第二東祥ビル3F	TEL 0566-71-1888 FAX 0566-71-1877
金沢営業所	〒920-0024	石川県金沢市西念3-1-32 西清ビルA棟2F	TEL 076-234-3116 FAX 076-234-3107
京都営業所	〒612-8401	京都市伏見区深草下川原町22-11 市川ビル3F	TEL 075-646-0757 FAX 075-646-0758
兵庫営業所	〒673-0898	兵庫県明石市榑屋町8-34 大同生命明石ビル8F	TEL 078-913-6333 FAX 078-913-6339
岡山営業所	〒700-0973	岡山市北区下中野311-114 OMOTO-ROOT BLD.101	TEL 086-805-2611 FAX 086-244-6767
広島営業所	〒730-0802	広島市中区本川町2-1-9 日宝本川町ビル5F	TEL 082-532-1750 FAX 082-532-1751
松山営業所	〒790-0905	愛媛県松山市梅味4-9-22 フォーレスト21 1F	TEL 089-986-8562 FAX 089-986-8563
福岡営業所	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東3-13-21エフビルWING 7F	TEL 092-415-4466 FAX 092-415-4467
大分出張所	〒870-0823	大分県大分市東大道1-11-1 タンネンバウムⅢ2F	TEL 097-543-7745 FAX 097-543-7746
熊本営業所	〒862-0954	熊本県熊本市神水1-38-33 幸山ビル1F	TEL 096-386-5210 FAX 096-386-5112

お問い合わせ先
アイエイアイお客様センター エイト

(受付時間) 月～金 24時間 (月 7：00AM～金 翌朝 7：00AM) 土、祝日 9：00AM～5：00PM (年末年始を除く)
フリー 0800-888-0088 FAX：0800-888-0099 (通話料無料)

ホームページアドレス <http://www.iai-robot.co.jp>

IAI America, Inc.

Head Office：2690 W. 237th Street Torrance, CA 90505
TEL (310) 891-6015 FAX (310) 891-0815
Chicago Office：1261 Hamilton Parkway Itasca, IL 60143
TEL (630) 467-9900 FAX (630) 467-9912
Atlanta Office：1220 Kennestone Circle Suite 108 Marietta, GA 30066
TEL (678) 354-9470 FAX (678) 354-9471
website: www.intelligentactuator.com

IAI Industrieroboter GmbH

Ober der Röth 4, D-65824 Schwalbach am Taunus, Germany
TEL 06196-88950 FAX 06196-889524

IAI (Shanghai) Co., Ltd.

SHANGHAI JIAHUA BUSINESS CENTER A8-303, 808, Hongqiao Rd. Shanghai 200030, China
TEL 021-6448-4753 FAX 021-6448-3992
website: www.iai-robot.com

製品改良のため、記載内容の一部を予告なしに変更することがあります。

Copyright © 2011. Aug. IAI Corporation. All rights reserved.